

京都市指定管理施設

2022 年度  
武道センター、岡崎公園  
事業報告書

岡崎スポーツネットワーク

構成団体

公益財団法人京都市スポーツ協会

近建ビル管理株式会社

イオンディライト株式会社

—目次—

(はじめに)	1
1 事業の実施状況及び施設の利用実績	
(1) 事業の実施状況	1
(2) 施設の利用実績	2
2 経費の収支決算	3
3 建築物及び設備機器等の維持管理	
(1) 主な修繕・メンテナンス実績	4
(2) 市内中小企業への発注	4
4 利用者ニーズの把握状況	4
5 その他	
(1) サービスの提供計画	4
(2) 災害等非常時の危機管理及び防災対応	5
(3) 利用促進の各種取組	5
(4) 環境の取組	6
(5) その他	6
6 管理運営業務の自己評価	6

(はじめに)

2022年度は、2020年度から続く新型コロナウイルスの影響による施設利用に関する制限が徐々に弱まり、平常状態への復帰に向け様々な取り組みを実施した1年となりました。

公益財団法人京都市スポーツ協会を代表団体とする当施設群については、近建ビル管理株式会社とイオンデイトライト株式会社を加えた3社で共同事業体を構成し、以下の5つの基本理念をもって管理運営に当たりました。

基本理念 『魅力あふれるスポーツの場づくり』の継続実現に向けて

- (1) 安心・安全を第一とした管理運営
- (2) 公共スポーツ施設としての公平性と柔軟性を兼ね備えた管理運営
- (3) 関係団体との連携によるスポーツ振興や競技力向上を見据えた管理運営
- (4) 多様化する利用者のニーズに対応した管理運営
- (5) 施設の特徴を理解し、地域に密着した管理運営

## 1 事業の実施状況及び施設の利用実績

### (1) 事業の実施状況

#### ア 施設一般開放（みんなのスポーツ広場）

利用率の低い時間帯に個人利用可能な時間帯を設定し、事前登録及び事前申し込み不要での個人利用を可能とし、気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを行うため、施設を一般開放しました。

【場 所】 武道センター主競技場 【種 目】 バドミントン

【実 施】 12回 【利用人数】 延べ55名

#### イ お正月施設無料開放

京都市の条例で供用しない日と定められている年始期間に、市民に施設を無料で開放することにより、日頃施設を利用されている市民・団体のほか、地域住民へのサービス向上と新規利用者の拡大を目的に実施しました。

【対象施設】 岡崎公園 野球場（外野芝生部分）

【実 施 日】 1月2日（月）・3日（火）10:00～16:00

【利用人数】 延べ285名

#### ウ スポーツ情報提供事業

当事業体の情報やイベント事業にあわせて、プロスポーツ団体の情報及び貴市の取組等を代表団体である公益財団法人京都市スポーツ協会の情報誌「ダッシュ！」に掲載し、積極的な情報発信に努めました。

また、公益財団法人京都市スポーツ協会のホームページやFacebook、Instagramに、施設の利用方法などの詳細情報を掲載し、利用拡大につながる広報案内を行いました。

エ 自動販売機の設置

利用者にとって便利な場所に飲料の自動販売機を設置し、施設利用者の利便性を高め、利用者サービスの向上を図りました。

オ 物品販売及び貸与事業の実施

利用者の利便性を高めるために、競技に必要な物品の販売及び貸与を実施し、サービス向上に努めました。

(2) 施設利用実績

(利用率は、大規模改修工事や緊急事態宣言に伴う供用停止期間を除いて算出)

施設		2019		2020		2021		2022	
		件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率
武道センター	主競技場	2,131	82.3	1,168	46.8	1,989	75.1	2,263	82.1
	補助競技場(※)		70.4		66.6		71.3		79.2
	旧武徳殿		81.3		59.9		66.6		80.0
	相撲場		4.1		4.3		3.4		1.6
	弓道場(※)		33.2		30.3		33.7		33.0
	弓道場 (個人利用)	9,952		8,371		7,311		11,201	
	補助競技場 (個人利用)	139		185		162		39	
岡崎公園	野球場	3,541	62.0	2,981	53.3	3,032	60.8	3,411	59.9
	テニスコート		82.6		80.6		76.3		80.5

(※) = 個人利用を除く

2 経費の収支決算

2022年度		指定管理料	武道センター	岡崎公園	合計
指定管理 収支	指定管理料	19,471,315	-	-	19,471,315
	利用料金収入(※)	-	34,988,385	16,276,157	51,264,542
	その他収入	-	-	-	0
	指定管理収入合計	19,471,315	34,988,385	16,276,157	70,735,857
	人件費	-	28,490,099	11,254,497	39,744,596
	通信費	-	211,451	198,595	410,046
	備品費・消耗品費	-	401,569	486,853	888,422
	修繕費	-	1,633,500	982,300	2,615,800
	燃料費・光熱水料費	-	9,136,224	1,966,981	11,103,205
	保険料・租税公課	-	21,290	19,000	40,290
	外部委託費	-	12,327,143	3,276,152	15,603,295
	その他物件費	-	86,240	244,860	331,100
	指定管理支出合計	0	52,307,516	18,429,238	70,736,754
	指定管理収支	19,471,315	△ 17,319,131	△ 2,153,081	△ 897
その他 収支	事業収入(その他)	-	10,200	0	10,200
	その他収入合計	0	10,200	0	10,200
	人件費	-	94,114	94,114	188,228
	外部委託費	-	0	0	0
	その他事業経費	-	0	0	0
	その他支出合計	0	94,114	94,114	188,228
	その他収支	0	△ 83,914	△ 94,114	△ 178,028
	事業収入(物販)	-	1,319,034	6,654,151	7,973,185
	物販収入合計	0	1,319,034	6,654,151	7,973,185
	人件費	-	1,336,427	2,164,635	3,501,062
	外部委託費	-	0	0	0
	その他事業経費	-	0	0	0
	物販支出合計	0	1,336,427	2,164,635	3,501,062
	物販収支	0	△ 17,393	4,489,516	4,472,123
収支差額合計	19,471,315	△ 17,420,438	2,242,321	4,293,198	

### 3 公園施設及び設備機器等の維持管理

良好な環境衛生や美観の維持、さらに安全かつ快適な空間を保つための適切な施設・設備・植栽などの維持管理に努める一方で、市民が「安心・安全」に施設を利用できるよう、建物や設備機器を管理しました。

両施設とも経年劣化が進んでいるため、予防保全を基軸とした各種点検・メンテナンスを進めて、施設・設備の長寿命化対策や機能改善工事、安全対策工事を実施しました。

#### (1) 主な修繕・メンテナンス実績

##### 武道センター

本館トプライト雨漏り対策施工、消化ポンプグランドパッキン取替他修繕  
相撲場給湯器交換、高圧気中開閉器引き紐取替、消防設備取替修繕(感知器他)

##### 岡崎公園

多目的トイレ引き戸更新、乗用芝刈機(リールモア)緊急修繕・部品交換  
テニスコート照明タイマースイッチ設置工事、男子更衣室トイレドア修繕

#### (2) 市内中小企業への発注

京都市公契約基本条例に即して、法令上の制限や、専門的な能力を有する者に発注する必要がある場合、その他特別の事情がある場合を除き、京都市内中小企業への発注を行いました。

2022年度 市内中小企業発注比率： 90.9% (20/22件)

### 4 利用者ニーズ等の把握状況

武道センターでは、老朽化が進んでいることから、利用者からの声をもとに、優先順位をつけて計画的な修繕に努めました。また、相撲場が外部から誰でも容易に通行できてしまうことから、安心してご利用いただけるようバリアードを設置しました。

また、岡崎公園では、神宮道など近隣で開催されるイベントへの運営協力を行っており、利用者とも調整のうえ、一部公園敷地内をイベント関連スペースとして活用いただくなどの臨機応変な対応に努めました。

### 5 その他

#### (1) サービスの提供計画

##### ア 公平なサービスの考え方

当施設は、広く市民が利用できることのほか、各種競技団体が開催する大会等の利用があり、スポーツ振興の観点を大切にしながら、以下の5つを基本としてバランスのとれた質の高いサービスを提供するように努めました。

【基本方針】「サービス」「参加」「活動」「施設提供」「施設利用」の公平性

##### イ 効率的職員配置

常に利用者サービスの向上を念頭に置いて、有用な人材を適所に、効果的・効率的に配置し、施設を運営しました。

必要な職員数を確保し、無駄を省いて弾力的に配置しつつ、施設メンテナンス時に

は職員を重点的に配置しました。

#### ウ 職員の育成・研修体制

競技環境や利用者サービスのさらなる向上を目的として、外部団体が実施する研修会への参加（リモート研修を含む）や、市民応対・施設管理技術のスキルアップ研修並びに勉強会を実施しました。

【内 容】 接遇マナー・クレーム対応研修、  
ハラスメント研修、WEB 広告戦略セミナー、  
DEI 推進男性の育休取得実現研修、  
個人情報保護・セキュリティ研修、  
上級施設管理士・スポーツ施設管理公認資格更新研修、  
京都府体育・スポーツ施設管理者講習会

### (2) 災害等非常時の危機管理及び防災対応

#### ア 防災訓練等の実施

万が一の災害に備え、利用者の安全確保を第一優先に、迅速かつ的確な指示ができるよう、スタッフ研修・訓練を実施するとともに、関係団体・機関との緊急連絡体制の相互確認を行いました。

#### イ 熱中症の対応について

利用者への水分補給等、熱中症対策についての声掛けや掲示物による注意喚起を積極的に行い、利用者自身の体調管理に関する意識啓発に向け、各施設にも経口補水液を常備することで、より安全なスポーツ・レクリエーション活動をサポートしました。

#### ウ 雷対策について

屋外施設の岡崎公園では、雷警報機(ストライクアラート)を備え、利用者への無料貸出を積極的に行い、安全に施設利用できるようサポートに努めました。

#### エ 新型コロナウイルス感染症防止対策について

スポーツ庁や京都府発出のガイドラインや貴市の定める対策方針等に従い、適切な施設運営に努めました。アルコール消毒液や次亜塩素酸水を配備して安全衛生に努め、新型コロナウイルスの感染予防及び拡大防止に取り組みました。

### (3) 利用促進の各種取組

武道センター主競技場の一般開放事業の実施や、代表団体の京都市スポーツ協会傘下の武道系競技団体と連携した市民スポーツ教室の開催など、施設の利用拡大に取り組みました。

また、重要文化財として建築物として価値の高い旧武徳殿の有効活用として、セレモニー会場としての利用に協力するなど、新たな利用ニーズについても柔軟に対応してまいりました。

#### (4) 環境の取組

##### ア KES STEP1 認証取得

環境マネジメントシステム・スタンダード KES STEP1 の認証を 2009 年 7 月 1 日に取得し、様々な環境改善活動に取り組んでいます。

施設スタッフが日常的に省エネルギー対策に取り組み、節水やこまめな消灯を徹底し、利用者の協力が必須になるゴミの持ち帰りや省エネルギー等の取組については、声掛けやポスター掲示等を行い、ご理解・ご協力を得ながら取り組みました。

##### イ エコステーションの設置（市民スポーツ会館へ集約）

(ア) テニスボールのリユース活動（新型コロナウイルスの影響により上期は自粛）

(イ) ペットボトルキャップのリサイクル

(ウ) 使用済み乾電池の回収

##### ウ 雨水タンクの設置

環境への取組みの一環として、花の水やり、災害時等の非常用として活用できる雨水タンクを設置しています。

#### (5) その他

##### ア 施設周辺の清掃活動（地域清掃活動）の取組

施設の内側以外に周辺区域の美観を保つために、周辺に落ちているゴミを拾う清掃活動を毎月 1 回実施しました。

##### イ 「歩くまち京都」の推進

公の施設のスタッフであるという自覚を持ち、「歩くまち京都」を推進し、当事業体のスタッフの通勤は可能な限り電車やバス等の公共交通機関を利用した通勤を徹底させました。

##### ウ 就業体験等の受け入れ

近隣の教育機関と連携した就業体験や、社会見学等の要望があれば積極的に受け入れる体制を取りました。

#### 6 管理運営業務の自己評価

2022 年度は、2020 年度から続く新型コロナウイルスの影響が残るなか、施設利用及び事業実施環境としては徐々に回復していく中での管理運営となりました。

経年劣化が進む施設や設備については、安心・安全確保の観点から計画的な小修繕をこまめに実施し、とりわけ、国の重要文化財に指定を受けている旧武徳殿については、貴市所管課とも連携し、適切な維持管理に努め、サービスの向上に繋げました。

新型コロナウイルスの影響が残る中での施設運営となりましたが、各施設の利用件数や利用率は比較的順調に回復し、指定管理収支は黒字決算となりました。



市内中小企業への発注比率については、目標達成のため共同事業体とも情報共有を密に取り組み、90.9%と目標の90%以上を達成することができました。今後も引き続き共同事業体としての特色を最大限に活かし、一層の利用者サービス向上と効率的な管理運営に努めてまいります。